



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次整備提案書

### ※ 記入上の注意

- ① 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。
- ④ 提案書、添付資料を部会員以外に配布する際は白黒コピーとなります。

整備提案名 （25字以内）	町の防災拠点づくり
提案グループ名 （25字以内）	松ヶ丘自治会
グループの現在の主な活動内容及び <u>最近5年以内の活動実績</u>	平成24年度は、「松ヶ丘防災隊活動要領」を制定し、この「防災隊活動要領」に基づき、万一首都圏を中心とする大型地震が発生した場合に備え、要援護者の名簿の作成に着手しました。8ヵ月間の活動の結果要援護者として59名の方に届けて戴き、助けあいカードとホイッスル・オレンジ色の旗を渡すことができました。
整備場所の所在地 （町名又は丁目まで記入）	神奈川区 松ヶ丘  ※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。
整備提案の内容 （どのような整備を提案するのか <u>文章</u> で記入してください）	東日本大震災以降首都圏を震源地とする大型の地震が発生が近いとの報道が再三行われています。 24年度の活動は、地震が発生した場合、体の弱い方「要援護者」の方々をどのようにして救助や避難誘導をしていくか又避難場所として会館を防災拠点に位置付け活用することが必要であると考えました。要援護者の方々の避難場所とするためには、防災用品を揃える事、それに合わせて収容する収納庫(物置)が必要とすることです。 つきましては、「市民まち普請事業」を活用し収納庫(物置)を整備したいので提案するものです。  <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約 80 万円</p> ※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）
整備提案の動機や背景 （整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら <u>箇条書き</u> で記入してください）	首都圏を震源地とする地震の発生が近いということが、「松ヶ丘防災隊活動要領」の制定を急がせた事、又要援護者名簿の作成も同様の理由で着手したことです。何といたっても、首都圏を震源地とする地震に備えることが自治会として重要な課題となってきたことです。 自治会として、体の弱い方「要援護者」の方を救助し収容すること、その場所として自治会館を災害時の防災拠点とし、避難される方の広域避難場所への避難誘導等を行っていきたいと考えています。 そのため、防災備品の準備・それを収納する物置が必要となってきました。

<p><b>整備の効果</b> (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<p>松ヶ丘町内は約1200世帯で約3000人が暮らしています。自治会として町の安全安心という観点から防災・防犯活動に力を入れています。収納庫を整備することにより、乳幼児から要援護者の方々を含め収容できること。又町の防災拠点として救助や避難誘導等が迅速に行われるように災害対策本部の機能の強化が図られると考えています。そして、防災拠点である会館が住民の方々の災害時の拠り所として貢献できるものと考えています。</p>
<p><b>整備した施設の維持管理・運営</b> (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<p>整備された収納庫は防災部長が責任者として管理するとともに収納した防災用品の補充や点検も実施して行きたいと考えています。 ① 25年6月から「親子のたまり場」を開設すること。 ② 老人会「松ヶ丘木蓮クラブ」も会館を趣味の集い等で活用しています。従いまして、乳幼児から老人会までの各年代で会館を利用しており、町の絆が強くなっていること、それが地震等の災害が発生した場合には会館に行こうという意識づけになって行くものと考えています。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>松ヶ丘町内の防災拠点は横浜市の指定は栗田谷中学校です。しかし、首都圏を震源地とする地震が発生した場合は、国道1号線が混乱し、国道を横断できるかどうか大きな課題です。そのためには、2日～3日程度は町の防災拠点で収容することが必要であると考えます。それが会館であり「町の防災拠点」です。自治会館を防災拠点として整備している所はまだ少ないのではないかと思います。安全安心の拠り所としての「町の防災拠点」としての新しい提案であると考えます。</p>

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

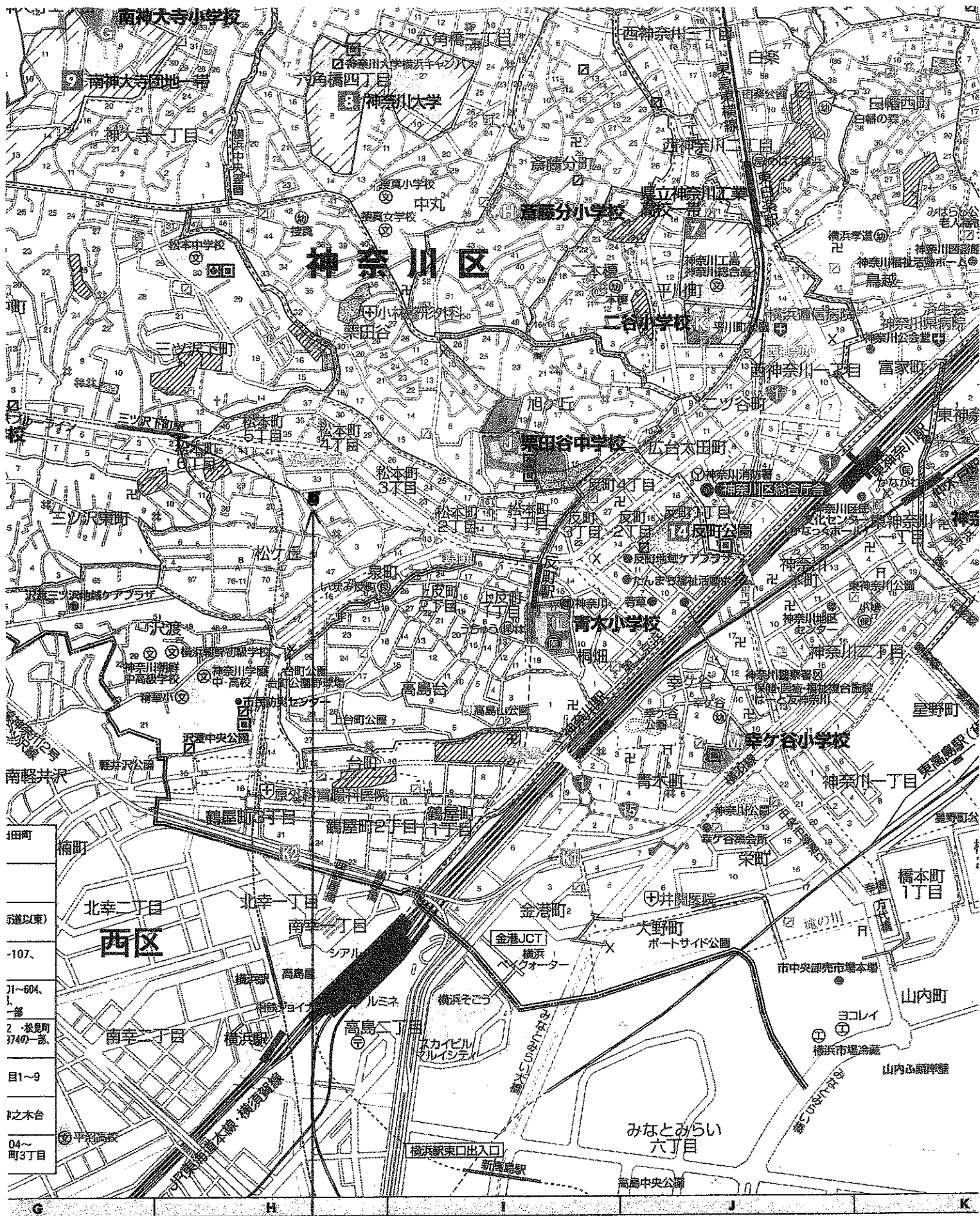
- 「ヒト」の例
  - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
  - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
  - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
  - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
  - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。
  - ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



横浜市営地下鉄  
三ツ下町駅 徒歩5分

松丘12-6  
松丘自治会館

# 松ヶ丘自治会館

2011年12月21日 撮影



# 収納庫として整備するイメージ写真



蛍光灯上の空間部分を収納庫として整備したい